平成２３年度シラバス　　　学番 51　新潟県立加茂農林高等学校

教科(科目)	農　業 （ウッディクラフト）	単位数	４ 単位	学年(学科・コース)	３年（環境緑地科 ・緑地工学コース専門選択生）
使用教科書	林産加工（実教出版　）			授業形態	選択必修
副教材	なし				

１科目目標

①林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得させる。
②林産物の加工、利用に必要な特性を理解させる。
③林産物の多様な利用を図る能力と態度を育てる。

２学習計画

月	学習項目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5 6 7	林産加工の意義と動向 木材の性質と用途 製材と木材の工作 木材の加工と利用 課題作品の制作	・地域の具体的事例を通して、林産加工及び林産工業の現状と動向について学習し、木材加工と利用に関心をもたせる。 ・木材の構造や性質との関係、また実用的、工芸的な特性、それを生かした用途に関する知識と加工方法等実習を通して学習。 ・規格に合った用材を作り出す製材及びその製材品を切削加工する木材の工作に関する知識と加工方法等実習を通して学習。 ・木材の乾燥や保存に関する知識について学習。 ・木工機械の操作及び塗料等各種薬剤による事故防止、安全指導について実習を通して学習。 ・合板、集成材などの改良木材の種類や加工方法等知識・技術を学習。 （いくつかの課題より各自選択） ・事故防止、安全指導について実習を通して学習。 ・上記の内容をふまえ、作品製作を通して加工方法を学習。	５０	・実習への取組み（意欲）や態度。 ・実習に適した服装や事前準備。 ・器具の取扱いや技術。 ・出席状況。（欠席、遅刻の有無等） ・特性をふまえた設計、加工、仕上げ。 ・素材を生かした作品。 ・完成品の提出、展示。
8 9 １０ １１ １２	 課題作品の制作 文化祭展示 卒業作品の立案	 ・各自完成した課題作品を展示し、環境緑地科での学習内容を発表を兼ねて紹介。 ・今まで学習したことをふまえて各自で用途のある作品を設計する。	７０	
1 2 3	卒業作品の制作	・各種技術を活かした用途のある作品を加工し完成させる。	２０	

３評価規準と評価方法

項　目	内　　容	評価方法
関　心 意　欲 態　度	・木材の加工に興味、関心を持って意欲的に学習に取り組んでいるか。 ・木材の特質を理解しようとする積極的な態度があるか。 ・木工機械の機能・使用方法等を理解しようとする積極的な態度があるか。 ・木材加工の面白さを体験し、関心や意欲を醸成できたか。	①実践した内容の最終的な成果品を評価。 ②授業における服装・出席・関心・意欲・態度を評価。 ③実習における思考・判断・技能・関心・意欲・態度を評価。（日頃の実習を通して、知識・理解も加味して評価） ※各学期の成績を総合し、１年間の学習成績を１００点満点で評価。
思　考 判　断	・木材加工の知識を生かした材料選定、設計ができたか。 ・木材の特質をふまえて加工、組立て等が的確にできたか。	
技　能 表　現	・設計どおりの作品が完成したか。 ・木材の特質、素材を生かした作品ができたか。 ・目的を持って木材加工に取り組み、作品を完成できたか。	
知　識 理　解	・木材の生産、加工、利用に関する知識と技術を習得し、また木材の成分特性について理解ができたか。 ・木工機械の種類・用途、特徴・使用方法等について理解ができたか。 ・木材が環境負荷の少ない再生産が可能な資源であることを理解したか。	